

令和4年度事業報告

1 概況

新型コロナウイルス感染症オミクロン株による第7波、第8波感染拡大により、引き続き社会経済活動に大きな影響を受けた一年でしたが、令和5年3月、国は、感染症法上、新型コロナウイルス感染症を、5月8日から「5類感染症」に変更する決定を行い、新型コロナウイルス感染症対策は、新たな対策に移行しようとしています。

当センターにおいても、コロナ禍の影響を受けながらも、「持続可能なシルバー人材センターの構築」に向け、会員拡大と就業機会の確保の取組みを中心にできる限りの事業を展開しました。

会員確保拡大では、毎月2回入会説明会を開催し、出席者に対し丁寧な説明を行うとともに、構成市町広報紙への会員募集記事の掲載や高齢者活躍人材確保事業による庭木剪定講習会の開催などにより新規会員の入会促進に取り組めました。

しかし、会員数は、年度内の入会者は61人とどまり、退会者が100人で、年度末会員数は、前年度末より39人減少し、591人となりました。

安全適正就業では、「安全はすべてに優先する」基本理念に基づき、安全パトロールを実施し事故防止に努めました。10件の事故が発生しましたが、前年度より件数は5件減少しました。引き続き、事故検証による対策の実施や、交通安全運転講習・刈払機取扱安全衛生講習など、安全対策の継続的な取組みが求められます。

また、組織運営基盤の強化では、令和4年度、理事会において、理事定数並びに理事選出地区割の見直しなどを行い、新たな事業運営体制の構築を推進しました。

令和4年度の事業実績は、請負(受託)事業による契約金額が、1億4千7百万円余で、対前年比プラス0.2%、35万円余の微増となりました。しかし、受注件数は3,742件で、対前年比マイナス1.1%、40件の減となりました。

また、労働者派遣事業も、契約金額は、2億1千2百万円余となり、対前年比プラス3.6%、7百万円余の増となりました。

これにより、令和4年度の請負(受託)事業と労働者派遣事業の契約金額の合計は、3億5千9百万円余となり、前年度とほぼ同水準の契約額を確保できました。

しかし、請負(受託)事業に携わる会員の高齢化や減少、また、民間事業者では、70歳雇用延長努力義務化などにより派遣事業の見直しを進める動きがあるなど、シルバー事業を取り巻く環境は厳しさを増してきており、今後も、さまざまな社会情勢等の変化に的確に対応できる体制づくりに努め、事業運営を展開してまいります。

以下、実施した事業等の概況について報告します。